で様式第１号（第１０条関係）

2024 年度業務実績報告書

提出日　2025 年 1 月 10 日

１．職名・氏名　教授　ベロフ　アンドレイ

２．学位　　学位　Doctor of Economic Sciences （経済学博士）、専門分野　経済、授与機関　ロシア連邦教育・科学省最高資格審査委員会、授与年　2010 年 11 月

３．教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
①　担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 ロシア経済論（2 単位　毎年開講）　2 年生　（2003 年度以前～現在に至る）
②　内容・ねらい ロシア経済の現状と課題、ロシアにおける市場経済改革、世界経済でのロシアの位置づけの理解を深める
③　講義・演習・実験・実習運営上の工夫 PPT 及び PREZI プレゼンテーション・ソフトウェアの利用、講義レジュメの作成・配布、中間テストの実施、映像教材・ビデオの利用、日ロ経済関係ニュースの紹介 2025 年 1 月 9 日、ゲストスピーカーとして日本経済研究センター首席研究員・伊集院敦氏を招待、公開講義・意見交換を実施、FPU プレスリリース等による情報発信。テーマは「デリスキング下の北東アジア経済」。 【ゲストスピーカー　1 件】
①　担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 移行経済論（2 単位　毎年開講）　3 年生　（2003 年度以前～現在に至る）
②　内容・ねらい 経済システムの国別モデル、比較の基準などを説明し、旧社会主義諸国における社会経済改革および社会経済現状について理解を深める
③　講義・演習・実験・実習運営上の工夫 PPT プレゼンテーションの利用、講義レジュメの作成・配布、中間テストの実施、映像教材・ビデオの利用、東欧・旧ソ連諸国経済関係ニュースの紹介
①　担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 経済学、一般教育のオムニバス（2 単位　1/15 担当、2024 年に開講）　1 年生　（2024 年度）
②　内容・ねらい 世界経済の動向、短期・中期・長期的なトレンドや予測に関する理解を深める
③　講義・演習・実験・実習運営上の工夫 PPT プレゼンテーションの利用、講義レジュメの作成・配布、映像教材・ビデオの利用、国際研究機関による世界経済予測の紹介

① 担当科目名（単位数）　主たる配当年次等
研究演習Ⅰ（4 単位　毎年開講）　3 年生　（2003 年度以前～現在に至る）

② 内容・ねらい
東欧・旧ソ連諸国における経済改革、国際経済関係への影響、ロシア経済及び日ロ経済関係の将来について理解を深める

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫
学生による報告、教材検索の説明、レジュメの作成、映像教材・ビデオの利用、東欧・旧ソ連諸国経済関係ニュースの紹介、Zoom による日本留学中のロシア学生との意見交換
2024 年 10 月 17 日、3 年生は他のゼミ学生と共に北陸技術交流テクノフェア 2024 に参加。メリットは、福井県の企業の活動・経営に関する知識を深めるなどである。
2024 年 12 月 19 日、3 年生のゼミで 4 時限目にロシアの国立大学の修士課程の 2 年生（日本の大学での短期留学中）と共に Zoom を通じて意見交換を実施。学生生活及び大学教育について日本語で会話。メリットは、国際交流スキルの強化・ロシアの日常生活に関する知識などである。
2025 年 1 月 9 日、ゼミ生は下記の公開講義に参加：ゲストスピーカーとして日本経済研究センター首席研究員・伊集院敦氏を招待、公開講義・意見交換を実施、FPU プレスリリース等による情報発信。テーマは「デリスキング下の北東アジア経済」。
【ゲストスピーカー　1 件】
【フィールドワーク等 1 件】

① 当科目名（単位数）　主たる配当年次等
研究演習 II（4 単位　毎年開講）　4 年生　（2003 年度以前～現在に至る）

② 内容・ねらい
卒業論文及び卒業レポートのテーマを選択し、個別報告を中心に知識を広げていく。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫
問題設定に関する指導、先行研究の分析の練習、中間レポートの実施
2024 年 10 月 17 日、4 年生は他のゼミ学生と共に北陸技術交流テクノフェア 2024 に参加。メリットは、福井県の企業の活動・経営に関する知識を深めるなどである。
2024 年 12 月 19 日、4 年生のゼミで 5 時限目にロシアの国立大学との 4 年生（日本の大学での短期留学中）と共に Zoom を通じて意見交換を実施。学生生活及び大学教育について日本語で会話。メリットは、国際交流スキルの強化・ロシアの日常生活に関する知識などである。
2025 年 1 月 9 日、ゼミ生は下記の公開講義に参加：ゲストスピーカーとして日本経済研究センター首席研究員・伊集院敦氏を招待、公開講義・意見交換を実施、FPU プレスリリース等による情報発信。テーマは「デリスキング下の北東アジア経済」。
【ゲストスピーカー　1 件】
【フィールドワーク等 1 件】

① 担当科目名（単位数）　主たる配当年次等
外書購読　ロシア語（2 単位　毎年開講）　2 年生　（2003 年度以前～現在に至る）

② 内容・ねらい
現代ロシア社会の現状について理解を深める

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫
新聞・経済関係誌・統計局などのダウンロードした資料の利用、分かりやすくロシアの社会情勢の紹介

(2)その他の教育活動
内容（*及び**は以上でも記載） 2024 年 10 月 10 日、年 3 年生・4 年生の共通ゼミを実施、県大のキャリアセンター説明を受け、「4 年生の就職活動の経験」について話し合いを行う。メリットは、就活を 4 年生の立場からみることである。 *2024 年 10 月 17 日、3・4 年生は他のゼミ学生と共に北陸技術交流テクノフェア 2024 に参加。メリットは、福井県の企業の活動・経営に関する知識を深めるなどである **2024 年 12 月 19 日、3 年生（4 時限目）及び 4 年生（5 時限目）はロシアの国立大学の修士課程の 2 年生（日本の大学での短期留学中）およびロシアの国立大学との 4 年生（日本の大学での短期留学中）と共に Zoom を通じて意見交換を実施。学生生活及び大学教育などについて日本語で話した。メリットは、国際交流スキルの強化・ロシアの日常生活に関する知識などである。

４．研究業績

(1)研究業績の公表

①著書

【　本】

②学術論文（査読あり）

1.「Crab Harvesting, Sustainability Issues, and International Trade: Insights from Russia」（単著）、『World』(Monthly magazine, MDPI, Switherland)、2024、No.5（2）、B5 版、pp. 293-312. https://doi.org/10.3390/world5020016 https://www.mdpi.com/2673-4060/5/2/16 Indexing: WoS (ESCI), JCR - Q1 (Social Sciences, Interdisciplinary), Impact Factor: 2.0 (2023); 5-Year Impact Factor: 1.9 (2023)

2.「Эволюция кластерной политики в Японии」（ロシア語）「日本におけるクラスター政策の進化」（単著）、『Japanese Studies in Russia』(Monthly magazine, Academy of Sciences, Russia) 、2024 、No.3 、B5 版 、pp. 133-147. DOI: https://doi.org/10.55105/2500-2872-2024-2-133-147 URL: https://www.japanjournal.ru/jour/article/viewFile/491/308 Indexing: WoS (ESCI)

【2 本】

③その他論文（査読なし）

【　本】

④　学会発表等

「カニ操業と国際貿易：ロシアの視点」北東アジア学会第 30 回記念学術研究大会、2024 年 9 月 28～29 日、大阪商業大学、単著、報告要旨・フルペーパー（研究資料の紹介）・報告スライド（2pages/7pages/30slides）：北東アジア学会の HP　https://anears.net/　研究資料を学会雑誌への投稿（2024 年 12 月 23 日）

【1 件】

⑤その他の公表実績

【　本】

(2)科研費等の競争的資金獲得実績

【学外】

【学内】

令和 6 年度〔個人研究推進支援（出版・論文投稿支援【論文投稿】)〕

(3)特許等取得

(4)学会活動等

学会での役職など

北東アジア学会理事、2015 年 4 月～現在至る

５．地域・社会貢献活動

①-1 委員就任（国）　（それぞれの名称、業務内容、担当期間）
①-2 委員就任（県）　（それぞれの名称、業務内容、担当期間）
①-3 委員就任（市町村）（それぞれの名称、業務内容、担当期間）
①-4 委員就任（その他公益法人等）　（それぞれの名称、業務内容、担当期間）
② 国・地方公共団体等の調査受託等　（それぞれの名称、業務内容、活動期間）
③（公益性の強い）NPO･NGO 法人への参加
　太平洋人材交流センター（PREX 大阪、大阪市）旧ソ連諸国研修アドバイザー、2015 年 8 月～現在に至る
④（兼業規程で業務と見なされる範囲内での）企業等での活動 （企業名、活動内容、活動期間）
⑤大学間あるいは大学と他の公共性の強い団体との共催事業等
　JICA 北陸及び太平洋人材交流センター（PREX 大阪、大阪市）の中央アジア研修生向け地域活性化・産業クラスター研修での共同指導講師（オンライン・対面）、研修生の指導（アクションプラン作成など）。プレスタディ期間（2024 年 10 月 15 日～10 月 28 日）、日本滞在期間（2024 年 11 月 05 日～11 月 23 日、大阪・福井・金沢での滞在中、大阪・金沢のプログラムを共同担当）、アクションプラン実現期間（2024 年 12 月～2025 年 1 月、アクションプラン遠隔発表会は 2025 年 2 月 7 日に実施）で参加・報告・指導など。
⑥公開講座、オープンカレッジ、社会人・高校生向けの講座の開講（タイトル名、開催場所、開催日時）
　福井県立三国高等学校開放講義講師「世界経済の展望」、2024 年 7 月 08 日
⑦その他　（名称、活動場所、活動期間）

６．大学運営への参画

(1)補職

(2)委員会・チーム活動

　福井県立大学経済学部予算・研究委員会員、2021 年 4 月～22 年 3 月、委長 2022 年 4 月～現在に至る
　福井県立大学 1 年生相談担当、2022 年 4 月～現在に至る
　福井県立大学保健・学生相談センター運営会議委員、2023 年 4 月～現在に至る

(3)学内行事への参加

　福井県立大学ソフトテニスサークルの顧問、2021 年 4 月～現在至る

(4)その他、自発的活動など